

年頭に当つて

天王町議会議長 米谷多一郎



昭和四
十六年の
輝かしい
新春を迎
え、町民
各位の前
途を心から祝福するものであります。

さして、G.N.P.世界第二の我が
国は当然の「ひづみ」として、
新たな公害問題を生み、また、
農政の貧困は三年越しの米価据
え置きと、生産調整などという
厳しい現実となつて私どもを脅
かすにいたりました。農を基幹
産業とする本町にとっては、誠
に戒心を要する事態であり、こ
れに対応して死中に活を求める
方途を追求することが、いまや
重大な喫緊事となりました。

また、本町に係る都市計画の
線引き案については、各地域ご
とに利害がふくそう（輻輳）し
いるとはいえ、私ども当事者は
地元民の意向をちようたつ（暢
達）しながら百年の展望と、時
限せんしん（漸進）との彈力的
運用により、町勢の将来を誤ら
ぬよう対処することもまた、當
面の重要な課題であると信じる
ものであります。

本町は、昨年までにおいて、
土木、産業経済、教育文化、保
健衛生等の各般にわたり、数年
以前と比較すれば、誠に隔世の
感がするほどの環境整備が進ん
でおります。これは、町当局の
行政意欲と手段措置のよろしき
を得たまものであることはも
ちろん、他面議会も町民福祉第
一義を念頭に、当局としん（唇）
歯ほ（輔）車、真に表裏一体と
なつて推進に協力してきた結果



天王町教育委員長 藤原慶一郎

町民の皆さん、皆様、お元気で
ご家族うちそろつて新年を迎えられ
たことと拝察いたしま
す。天王町の幼稚園、小、中学校
の子どもたちの教育と公民館を
軸とする社会人の教育は、共に
皆さんのご協力により、年度当
初に計画された重点事項を中心
に着々実行中であります。また
本年度の大きな事業である東湖
小学校のブルはりっぱにでき
ます。

であると申しても敢えて憚ら
いものであります。なお、本年度以降においても
天小の継続改築、東湖小の増築
町道ならびに農道舗装その他
各分野に新規事業が見込まれて
おり、これが完成の暁には、新
全総に伴なう「大規模工業開発
地帯」の中心地としての地理的
好条件とあいまって、住みよい
明るい理想境天王町の実現は、新
期して待つべきであり、よしん
ばその前途に幾多の試練がある
うとも進んで克服する気概と努
力が必要であります。

以上のとく私ども議会は、
自治法の精神にのっとり、町勢
進展のため、ひいては我が国自
治体発展のために和して同せず
議決機関としての機能と職責を
果すことを、茲に改めてお誓い
し、ご協力とご支持を仰ぐとと
もに町民各位のご多幸を祈念し
て、年頭のごあいさつとする次
第であります。



新春を迎えて

天王町農業委員長 佐藤栄蔵

町民の皆さん、明けましておめで
とうございます。新しい年を迎え、
心からお喜び申し上げます。

昨年春以来から、生産調整の問
題、あるいは八月十五日の台風被
害、等外米の問題等、数々の大きな
難問の年であります。

ましたが、農家の皆さんはもちろん、
町はじめ関係機関のご指導、ご協力
により、最少限に止ることのでき
ましたことに對し、深く感謝を申し
上げる次第であります。

しかし、敬意と感謝を申し上げる次
第であります。

特に本町は、議会議員の選挙
都市計画の問題等もあり、将来
の新しい年と共に発足の運びに
なりましたことは、誠に喜ばし

いことであります。

そこで、特に本町は、議会議員の選挙
都市計画の問題等もあり、将来
の新しい年と共に発足の運びに
なりましたことは、誠に喜ばし

いことであります。

新年を迎えて

天王町消防団長 藤原吉治郎



町民の皆さん、明けましておめでとうございます。

七十一年の新年を迎え、一万三千町民とともに心からお喜び申し上げます。

申しまでもなく、私も消防人は常に町民の貴重なる生命と財産を災害から守り、幸福な町づくりに貢献する重大な任務のもとで、災害の未然防止に重点をおいています。予防消防に務めながら「一旦火急」の際は、いつでも出動できる態勢で平素をおいています。

出戸開拓地域の地域名が、十二月一日から

『出戸新町(しんまち)』となつた。

同地域では、昨年十

一月から新地域名を決

めるために、町名選考委員会(会長菊地栄治郎)を結成。同地域七

十七世帯からアンケートをとった結果「新町」と「開和町」のふ

たつが同数となり、分

館の臨時総会、さらに

は全体の協議会を開き

『出戸新町』に決定、

十二月一日からこの名

称でよぶことになつた。

今後は、「開拓」という名称

を返上して各人が地域外に「出

戸新町」をアッピールすること

になつた。

同地域の住民は「これからは

町民によりかけています。

水利、用水、機械器具の手入れ

点検、整備をいたしています。

なお、消防施設にご協力されて

いる方々に対しては、敬意と感

謝を申し上げます。

無火災提唱の目的に反して、

昨年もあいかわらず建物火災、

大小合わせて三件ありました。

とは、誠に遺憾にたえません。

ご承知のとおり、火元は自分の

損害のみでなく他人にもばくだ

いな迷惑をかけるもので、その

汚名は永代に残ります。

日進月歩、最近は、まったく

文化生活時代で、光熱はすべて

電気、ガス、油類に依存されつ

あります。各家庭、工場ごと

みんなで交通安全を!

人間の幸福を阻害するのは、

主として病氣、火災、交通事故

が多い訳ですが、これらは注意

さえすれば防止できます。火の

元には、全町民あげて特段の用

心をするよう、衷心よりお願ひ

申し上げます。最後に皆さんの

ご健康とご多幸を祈り、新年の

あいさつといたします。

天王町役場

天王町議会

天王町選挙委員会

天王町監査委員会

天王町評議會

天王町固定資産評価審査委員会

天王町公民館

天王町消防団

天王町農業委員会

天王町教育委員会

天王町衛生委員会

天王町婦人委員会

天王町青年委員会

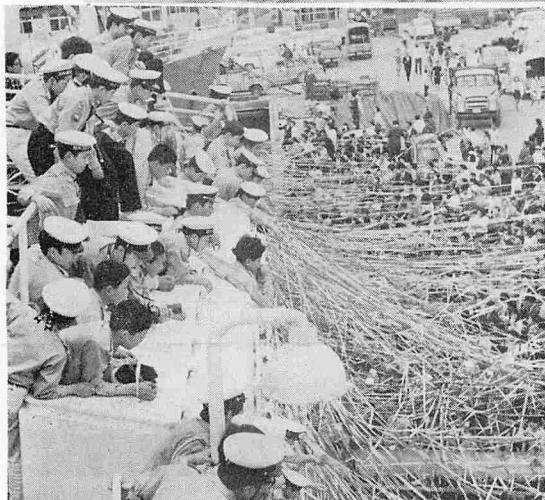
天王町老人委員会

1970

町のハイライト



3月 町消防団は、日本消防協会長から「かんとうじゅ」を受賞。これを機に、今後の防火態勢に万全を尽そうと、がんばっている。



3月～4月 町海洋少年団の一一行25名が沖縄派遣団に参加。貴重な体験を得て、元気に帰郷した。



4月～5月 民生委員の安田慶太郎氏が全国社会福祉協議会の招きで、ソ連、欧州の福祉視察へ。四月十七日町で壮行会を行なつた。



1月 部落民の労力奉仕で、上出戸に遊園地とスキー場が完成。子どもたちは、毎日元気にはしゃぎ回っていた。



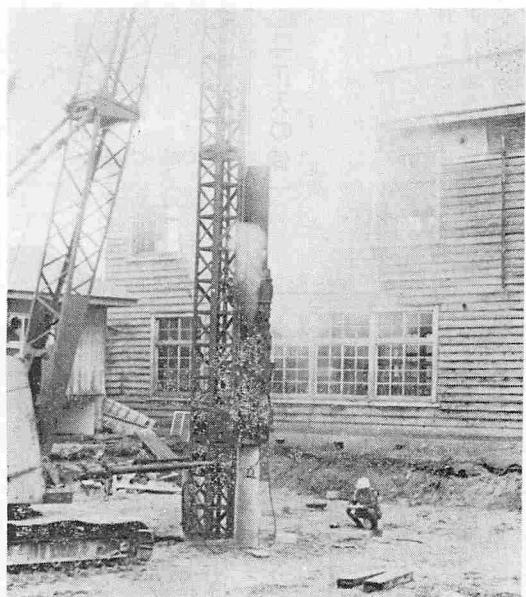
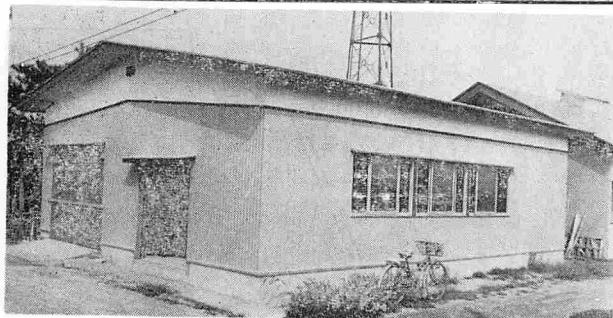
5月 「作るからには豊作を」と生産調整を背に本町の田植えが6日からスタートした。



5月 老人の家（ことぶき荘）が完成。お年寄りたちは「いこいの場」「集会場」として利用し、大喜びしている。



6月 本町では、ふたつの水泳プールが東湖小に完成。プール狭く泳ぎ回っていた。



7月 — 教育の殿堂 — 天王小の第一期工事はじまる。子どもたちは、三月二十日の完成を前に、いまや遅しと待ちこがれている。



10月 学校保健の普及、向上に優秀な成果をあげた東潮小が文部大臣賞を受賞。また、同校に約百人の視察団が訪され、内容の深さを賞賛していた。

9月 牛坂、中羽立のふたつの分館が完成。現在は、会活動、集会場として広く利用されている。

8月 パラリンピックで、三個のメダルを獲得した中川選手の優勝祝賀会が行なわれた。これからも苦難を乗り越え、懸命にがんばることでしよう。



10月 子どもたちの健全な遊び場を——と、二田に児童館が完成した。



11月 本町では、初めての羽立水稲栽培組合特別賞受賞祝賀会



11月 関心事、県実施の「都市計画」の説明会が、追分地区を中心四会場で開かれ、活発な意見、質問が交わされた。

11月～12月 住民の声を町政に——と、各地で町政懇談会を行なった。「都市計画」「生産調整」などに活発な質疑が交わされた。

農業者年金と所得比例

国民年金の「所得」 と保険料の納付

国民年金
は、四十五年十月から任意加入として、はじまっておりますが、今月から発足した「農業者年金」の加入者となる人は、同時に国民年金の所得比例保険料の納付義務となります。

所得比例制

国民年金は、これまで一律の保険料額で一律の給付ということがになつて、いましたが、年金への認識が高まるにつれ、「多くの保険料を納めてもよいから、もつと多くの年金がほしい」という要請が強くなり、この要請にこたえて新たに所得比例制がとり入れられたのです。これにより、今までの定額分の年金額年に上積みし、勤め人からの年金が受けられることになったわけです。

所得比例に加入できる人は、国民年金の加入者であって、保険料の免除を受けていない人は、どなたでも加入できます。この制度の趣旨は、より高い年金を受けることによって、老後の生活

「正天の偉」

追分西 渡部 六秋

白壁の薄墨色や御来光

白壁の薄墨色や御来光

九

伴わせと思うところに初詣ひ

正月休妻の小世話に溺れいる

松硝子を鮮明にして初吹雪

せんまいをゆでもどしたる松

の内
、股の元へ抽出
（寒て入る

たとえば、所得比例保険料を二十五年間納めた人は十五万円で、定額分だけの人は九万六千円です。また、四十年間所得比例保険料も納めた人は、一年に二十四万円受けられますが、定額分だけの人は十五万三千六百円ですので、所得比例に加入すればいかに有利かおわかりと思思います。

所得比例への加入手続きは、役場の窓口へ「国民年金手帳」を持参するだけですぐでできます。農業者年金へ加入したとき、またやめたときも、手帳を持参してその手続きが必要です。

失効受給者の皆さんへ
町では、ことしも失業保険手帳
付きの説明会を、役場会議室で
毎週木曜日（午前十時～午後三時）
に行なっています。本町での
職業安定所の受け付け指定日は、
金曜日となって、いますので、木曜日には必ず役場で各用紙
を受領して行ってください。

心配ごと相談室

毎週月曜日です

今月は四日、十一日、十八日、二十五日の四回開かれます。悩みごと、心配ごとの人は、気軽に役場の町民室へおいでください。開設時間は、午前九時から午後三時までです。

をさらに豊かなものにしようと
するものです。

慶弔
だより

(十一月中)

沖中谷地
二武長石
女田男井
純新誠昇
子悦

二二の前金を況區一ま

長高長沼三佐二佐長小長鈴長戸長米長小二中長藤長佐長船長樋二菅長伊長児二松長佐二畠長佐二畠長石女橋男田男藤女藤女沼男木男田男屋女柳男村女井女藤男木女口男原女藤女玉男村女藤男山男藤女川栄一将武義鉄優昭直勝雄斌恒正尚金綾新婦句昭靖陽金真豊惠重寿東美健吉裕明太次智肇靖敵貢之榮美子彦浩美之美子義美郎大郎雄憲美作司和子子典美子助美彦子雄樹一子一泰江司

二^二福^二追^一追^一男江^北羽^上三^三飯^二岐^東江^天北^東塩^愛羽^若羽^河江^上男^秋ハ^田岩^上秋^天東^横塩^埼上^江男^宮秋^下飯^千
玉島^九分^沖鹿^州中^重橋^田阜^京海^京媛^美辺^出鹿^田ラ^代手^出田^京浜^玉の^鹿ノ^田出^田葉
田県^西県^田市^川市^立谷^縣下^川田^縣都^川王^道都^口縣^立町^立町^川戸^市市^へ町^県戸^市王^都市^口縣^台川^市後^市戸^川王^県
地



おくやみ申上げます
塩沼田口桜庭モヨ(66才)
二鶴台伊藤照司(73才)
二田竹藏(41才)
上沖中谷地小玉繁(37才)
上鉢市鈴木佐市(91才)

おくやみ申上げます
横宮 男女 塩札 由二 高若 上山 札北 三天 渡天 二北 八追 十道 昭天 北秋 野秋 合北 二北
手の鹿出 幌利 美中 梨幌 重賀 鴻郎 分田 和田 田川 海
市後 市戸 口市 町田 町田 谷県 市野 県王 県王 田野 町西 町合 町王 野市 沢市 町野 田道
地
東武 江菊 桜野 木伊 三加 三飯 渡小 服米 中戸 桜菊 斎大 佐村 横米 菅熊 浅長 杉藤 大宇
谷田 畑地 庭矢 内藤 浦藤 浦沼 辺浜 部谷 森田 庭地 藤渕 藤山 谷谷 生谷 野川 渕原 関田
キ金 誠 由敦 正清 ニ弘 良芳 照定 文兼 昭三 ヒ金 ナ茂 昌 紀洋 尚 五締 洋一 慶惠
エ功 美功 リ 美功 リ

天王町議会議員一般選挙
告示 1月9日

投票日 1月17日（日曜日）
正しい選挙で明るい町をつくりましょう